



4. 免許・資格等

免許・資格

免許・資格の取得には、定められた単位を修得することが必要です。修得した者には免許状、修了証、証明書等が与えられます。

免許・資格				
認定心理士・認定心理士（心理調査）				
社	会	調	査	士
公	認	心	理	師

履修登録

- ① 免許・資格の各課程に共通している科目を履修した場合、その単位はいずれの課程においても有効です。
- ② 免許・資格課程を履修するには、定められた学年に、履修登録をしなければなりません。カリキュラム変更などにより、授業科目が開講されず、再履修できない場合があります。
- ③ 登録料、登録期間は別途掲示等で指示します。詳細についてはガイダンスで説明します。
- ④ 免許・資格課程の履修登録後、登録を取り消す場合は届け出てください。

認定心理士・認定心理士（心理調査）資格

「認定心理士」とは、心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している、と日本心理学会が認定した人に与えられる資格です。また、2016年度から開始された「認定心理士（心理調査）」とは、「心理調査に関連する専門科目を履修した認定心理士」であると日本心理学会が認定する資格です。

資格認定を受けるには

資格認定を希望する場合は、社団法人日本心理学会ホームページの「認定心理士資格認定」のページを参考にして電子申請をおこなってください。また、郵送での申請も可能です。その場合も同じホームページから必要書類と説明書をダウンロードして、申請書を作成してください。

認定委員会から合格の通知を受けた後、認定料を納めると、認定心理士名簿に氏名が登録されるとともに認定証が交付されます。

審査料・認定料

現在は、審査料 10,000 円と認定料が 30,000 円となっています。

本学において「認定心理士」および「認定心理士（心理調査）」取得の条件を満たすためには

認定委員会に申請するためには、以下の「認定心理士関連科目修得単位表」に記した科目の修得が必要となります。

修得が必要な科目

1) 認定心理士

「認定心理士関連科目修得単位表」に記載されている科目を、基礎科目から 12 単位以上（a 領域 4 単位以上、b・c 領域 8 単位以上、かつ最低 4 単位分は c 領域の単位）、選択科目から 16 単位以上（5 領域のうち、3 領域以上で各 4 単位以上）修得する必要があります。残り 8 単位はどの領域からでも修得できますが、全体で 36 単位以上の単位を修得していなければなりません。

2) 認定心理士（心理調査）

認定心理士の要件を満たしていることに加えて、「心理調査関係科目表」にある、1) 概論 2 単位以上、2) 統計 2 単位以上、3) 実践 6 単位以上が必要となります。なお、副次主題科目は 1 単位と換算されます（移行処置として 5 年間を目処とし、経過処置として副次主題科目をもって基本主題科目とみなすことが認められています）。

認定心理士関連科目修得単位表

▼心理学部心理学科（P118生）

基礎科目

領域	科目名	開講年次	単位	内 容
a 心理学概論	心理学概論	1前	2	心理学への導入的概説講義
	教育心理学	2前	2	児童・生徒の心理、学習理論の講義
b 心理学研究法	心理学研究法	1後	2	心理学における実証的研究法と倫理に関する講義
	心理学統計法Ⅰ	1後	2	心理学研究に必要な統計の基礎に関する講義
	心理学統計法Ⅱ	2前	2	t検定や分散分析など心理データの基本的な分析のための講義
	心理学統計法Ⅲ	2後	2	回帰分析など心理学研究における高次な分析に関する講義
	調査法Ⅰ	2前	2	質問紙などによる調査法の基本的理論
	調査法Ⅱ	2後	2	調査用紙の作成を含む実践的研究
	行動観察法	3後	2	行動観察および観察データの分析に関する講義
c 心理学実験	心理測定法	3後	2	心理学で使用される測定法に関する講義
	心理学実験Ⅰ	2前	2	心理学の基礎的な実験の実施およびレポート作成に関する講義
	心理学実験Ⅱ	2後	2	心理学の応用的な実験の実施およびレポート作成に関する講義

選択科目

領域	科目名	開講年次	単位	内 容
d 知覚心理学 学習心理学	実験心理学	2後	2	知覚などに関する実験研究の紹介
	知覚・認知心理学Ⅰ	2前	2	感覚・知覚・認知などに関する基本的知識に関する講義
	知覚・認知心理学Ⅱ	2後	2	感覚・知覚・認知などに関する応用的知識に関する講義
	学習・言語心理学	3前	2	ヒトおよび動物の学習過程と言語獲得に関する講義
	色彩心理学	4前	2	色彩の知覚および認知に関する講義
e 生理心理学 比較心理学	神経・生理心理学	3前	2	生体反応の測定および神経系の行動への影響に関する講義
	動物心理学	4前	2	動物心理学に関する一般的な講義
f 教育心理学 発達心理学	発達心理学	1後	2	乳幼児期から老年期までの諸機能の発達について
	教育・学校心理学	2後	2	教育場面および学校という場における臨床心理学的支援に関する講義
	生涯発達心理学	3前	2	老年期まで含めた生涯の発達過程の心理に関する講義
	児童心理学	3後	2	児童期における諸機能の発達および発達課題に関する講義
	適応の心理学	3後	2	環境におけるヒトの心の適応に関する理解
g 臨床心理学 人格心理学	臨床心理学概論	1前	2	臨床心理学の成り立ちと代表的な理論に関する講義
	感情・人格心理学Ⅰ	1前	2	感情と人格に関する基本的な知識に関する講義
	感情・人格心理学Ⅱ	2前	2	感情と人格に関する応用的な知識に関する講義
	障害者・障害児心理学	2前	2	障害者・障害児の理解と支援に関する講義
	心理的アセスメント	2後	2	心理的アセスメントの方法や倫理に関する講義
	福祉心理学	2後	2	福祉現場に関する知識や支援に関する講義
	健康・医療心理学	3前	2	医療現場や保健活動における支援に関する講義
	心理学的支援法	3前	2	支援を必要とする人や現場に関する知識および対応に関する講義
	精神疾患とその治療	3後	2	精神疾患、精神薬などに関する基本的知識
h 社会心理学 産業心理学	社会・集団・家族心理学	1前	2	個人と集団と家族に関する心理学
	コミュニケーション心理学	1前	2	ソーシャルスキルの理解を中心とした講義
	対人認知論	1後	2	社会的認知を中心とした情報処理に関する講義
	産業・組織心理学	2前	2	産業とその組織に関する基礎的な知識の理解
	家族心理学	3前	2	現代社会における家族の抱える問題の理解
	応用心理学	3後	2	心理学の応用的領域に関する講義
	文化心理学	4前	2	文化と心の関係、心の文化差に関する講義

その他の科目

領域	科目名	開講年次	単位	内 容
i 心理学関連科目 卒業論文	総合演習Ⅲ	4前	2	心理学的テーマと方法による卒業研究
	総合演習Ⅳ	4後	2	心理学的テーマと方法による卒業研究

心理調査関係科目表

▼心理学部心理学科 (P118生)

領域	大学における開講科目				備考
	科目名	開講年次	単位数	基本・副次	
1) 概論	社会調査論	1	2	副次	2 単位以上 (副次主題科目は 1 単位のみ認められる)
	心理学研究法	1	2	副次	
	調査法 I	2	2	副次	
	心理測定法	3	2	副次	
	面接法	3	2	副次	
2) 統計	心理学統計法 I	1	2	基本	2 単位以上
	心理学統計法 II	2	2	基本	
	心理学統計法 III	2	2	基本	
	調査法 II	2	2	基本	
3) 実践	調査演習 II	3	2	基本	卒業論文作成の総合演習 III、 総合演習 IV を含む 6 単位以上
	総合演習 III	4	2	基本	
	総合演習 IV	4	2	基本	

社会調査士資格

「社会調査士」とは、一般社団法人社会調査協会における認定資格であり、社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等をとらえることのできる能力を有することを協会が認定するものです。

以下には、2018年度現在で実施されている申請手続き等について示しますが、今後、変更される可能性があります。申請年度が近づいたら、一般社団法人社会調査協会のホームページを参照した上、手続き等について必ず心理学科教員に確認してください。

資格認定を受けるには

資格制度に参加している大学において定められた単位を修得したうえで、卒業時に取得可能となります。ただし、大学在学中にも「社会調査士（キャンディデイト）」を発行してもらうことが可能です（キャンディデイト取得には、2018年現在、資格認定手数料に16,200円（税込）が必要）

以下の単位を取得した上、卒業年度末に資格申請手続きを行います。資格申請は資格取得要件の科目を履修した学生が行うものですが、申請書類は学内で取りまとめ、大学から申請します。申請者は学内締め切り日までに必要書類一式を提出してください。学内締め切り日、必要書類の書き方等については、必要な時期に心理学科から指導があります。

必要書類

2018年現在、必要書類は、単位取得証明書および卒業証明書となっています。これらの他、資格認定手数料の振替払込受領書のコピーが必要となります。

資格認定手数料

2018年現在、16,200円（税込）となっています。

本学において社会調査士取得の条件を満たすには

資格申請をするためには、以下の「社会調査士関係科目修得単位表」に記した科目の単位を修得しなければなりません。

修得が必要な科目

以下の「社会調査士関係科目修得単位表」に記されている科目の単位を修得してください。なお、科目名称等の詳細は、心理学科としての科目申請状況や社会調査協会からの指導によって変更される可能性があります。

社会調査士関係科目修得単位表

▼心理学部心理学科（P118生）

科 目	大学における開講科目	
	科目名	開講年次
【A】社会調査の基本的事項に関する科目	社 会 調 査 論	1
【B】調査設計と実施方法に関する科目	調 査 法 I	2
【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目	調 査 法 II	2
【D】社会調査に必要な統計学に関する科目	心 理 学 統 計 法 I	1
【E】量的データ解析の方法に関する科目	心 理 学 統 計 法 III	2
【F】質的な分析の方法に関する科目	面 接 法	3
【G】社会調査の実習を中心とする科目	調 査 演 習 I	3
	調 査 演 習 II	3

公認心理師（学部カリキュラム）

公認心理師とは

公認心理師法は、平成 27 年 9 月 9 日に議員立法により成立し、9 月 16 日に公布され、平成 29 年 9 月 15 日に施行されました。

公認心理師とは、公認心理師登録簿への登録を受け、公認心理師の名称を用いて、保健医療・福祉・教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者をいいます。

- (1) 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
- (2) 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
- (3) 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
- (4) 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

公認心理師の受験資格

公認心理師は、大学で心理学に関する必要な科目を修め、その後大学院において必要な科目を修めてその課程を修了するか、もしくは卒業後一定期間の実務経験を積むことによって、受験資格が得られます。

本学の心理学部心理学科の卒業のみでは受験資格を得ることができませんので、大学院へ進学するか実務経験を一定期間積むことが必要とされます。

修得が必要な科目

以下の「公認心理師関係科目修得単位表」に記載されている全ての科目を修める必要があります。

公認心理師関係科目修得単位表

▼心理学部心理学科（P118生）

	科目名	開講年次
基幹科目	心理学概論	1
	心理学研究法	1
	心理学実験 I	2
	知覚・認知心理学 I	2
	発達心理学	1
	臨床心理学概論	1
	感情・人格心理学 I	1
	社会・集団・家族心理学	1
	学習・言語心理学	3
	神経・生理心理学	3
	公認心理師の職責	4
	心理学統計法 I	1
展開応用科目	教育・学校心理学	2
	障害者・障害児心理学	2
	産業・組織心理学	2
	心理的アセスメント	2
	精神疾患とその治療	3
	健康・医療心理学	3
	福祉心理学	2
	心理学的支援法	3
	司法・犯罪心理学	3
	人体の構造と機能及び疾病	3
	関係行政論	3
	心理演習	4
心理実習	4	